

- 地域資源が不足する地域を含め、潜在的な在宅医療に取り組んでいる診療所等の情報の把握・整理を行い、今後増大する在宅医療・介護の需要に効率的に対応できる環境を整える。
- 甲府市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、北杜市、山梨市、甲州市、中央市、昭和町の9市1町（やまなし県央連携中枢都市圏）が連携して、**圏域内の医療・介護の社会資源情報をタイムリーに共有できるシステムを導入し、「地域住民向け」「医療・介護関係者向け」サイトを開設する。**

## 資源情報システムのメリット

- 地域住民は、在宅医療・介護について市町を跨いだ利用があることから、自身が住む自治体の情報に限らず、近隣自治体の情報についても把握できる。
- 医療・介護関係者向けサイトで、在宅医療・介護に関する各事業所における取組の強み（在宅診療の可否、看取りの実施状況、無菌調剤薬局等）を知ることによって、患者（利用者）の需要に合わせた調整が行えるとともに、共通の情報に基づき情報提供が行える。
- 医療・介護関係者がサービス調整を行う際、事業所の空き状況がわかることで効率的に支援のマッチングを行うことができる。
- 資源情報の更新が定期的に行えることで、最新情報を効率的に発信及び受信ができる。

### 令和5年度

令和5年4～7月  
各関係団体へ順次説明

8～9月  
調査依頼・一斉調査(回収)

11月以降  
運用開始(予定)・空き状況調査開始

### 内容・更新頻度（令和6年度以降）

	対象	内容	時期	方法
一斉調査	医療機関、介護事業所、総合事業	基本情報等	年1回(4月)	FAX等
更新	医療機関、介護事業所	新規、廃止、変更情報の台帳データを更新	随時	FAX等
空き調査 (※専門職のみ共有)	①居宅介護支援事業所、②訪問看護ステーション、短期入所療養介護、短期入所生活介護	受け入れ可能人数の照会	①隔週1回 ②週1回	FAX等